

第 1 章

「法人 IB サービス」の概要

この章では、「法人 IB サービス」の概要について説明します。

1.1 「法人IBサービス」の特徴.....	1-2
(1) 「法人IBサービス」とは	1-2
(2) 「法人IBサービス」でできること	1-2
1.2 基本操作	1-4
(1) 管理者画面のメニュー構成	1-4
(2) 利用者画面のメニュー構成	1-5
(3) ソフトウェアキーボードについて.....	1-6

1.1 「法人IBサービス」の特徴

(1) 「法人IBサービス」とは

「法人IBサービス」は、インターネットを経由してお客様のお手持ちのパソコンと当金庫とをオンラインで結び、インターネット閲覧用（ブラウザ）ソフトからご利用口座にかかる各種取引をしていただき、また、各種情報を参照していただけるサービスです。



(2) 「法人IBサービス」でできること

● インターネットに接続されているパソコンなら利用可能

インターネットに接続されているパソコンなら利用が可能です。ご自宅のパソコンでも会社のパソコンでも利用することができますし、社内 LAN からも利用が可能なので、別途専用の回線を引くようなことはありません。

● 法人IBサービスの本人確認方式

法人IBサービスをご利用になる際の本人確認方式として、以下の2種類を用意しています。

補足

◆ いずれか1種類のみ提供となる場合もあります。

- ・ 電子証明書方式
お客様のパソコンにあらかじめ取得した電子証明書とパスワードにより、お客様本人であることを確認する方式です。
電子証明書の設定が必要です。
- ・ ID・パスワード方式
IDとパスワードによりお客様本人であることを確認する方式です。

● 利用者および権限設定・管理機能

お客様によって、「法人IBサービス」を利用する組織、部署や体制にあわせて、複数の利用者を登録することができます。この「利用者」には個別に権限を設定することができます。

参照

◆ 登録可能な利用者数は、「利用者情報選択」画面で確認できます。

具体的には以下の2つを設定することで、お客様のビジネスにフィットした設定をすることができます。

- ・ 取引・機能の利用可否
- ・ 取引金額の上限

また、人事異動や入退社にあわせて、利用者を追加／削除することができます。

● マスタデータの保存

お客様がご利用になる振込先などのマスタデータは、すべて法人IBセンターに登録することが可能です。法人IBセンター（※）では万全のバックアップ機能を備えていますので、お客様側でバックアップすることなく、安心してご利用いただくことができます。

補足

※ 「法人IBセンター」とは、法人IBサービスを提供するシステムセンターです。

● 金融機関情報のご提供

法人IBセンターでは、常に最新の金融機関情報をご提供します。そのため、お客様による更新作業などは必要なく、常に最新のデータをご利用いただくことができます。

補足

◆ 登録済の振込先口座の金融機関名称、支店名は更新されません。

● 万全のセキュリティ

大切なお客様のデータを、インターネット上で安全に授受するために数種類の最新セキュリティ機能を施しています。これにより安心してお取引いただくことができます。

● 汎用ソフトの利用

法人IBサービスは、Microsoft Internet Explorer などの無償のブラウザソフトを通じて利用することができます。FBソフトのような専用ソフトを導入する手間やコストがかかりません。また、インターネットを閲覧する操作感でご利用いただくことが可能です。

● 既存データの利用、他ソフト作成データの利用

今までFBソフトをご利用のお客様は、振込先などのマスタデータを全銀フォーマットに変換することにより、法人IBサービスでも利用することが可能となります。また、その他ソフトで作成したデータについても、全銀フォーマットやCSV形式ファイルにすることで利用が可能となります。

● EVSSL サーバ証明書を採用

Internet Explorer 8.0 等の高セキュリティのブラウザからインターネットバンキングのログオン画面へアクセスした際に、ブラウザのアドレスバーが緑に変わり、フィッシングサイトとの判別が視覚的にできるようになります。

1.2 基本操作

ここでは、管理者および利用者のメニュー構成について説明します。

(1) 管理者画面のメニュー構成

管理者メニューは2階層になっています。メインメニューを選択すると、選択したメニューのサブメニューが表示されます。

メインメニュー
サブメニュー

日時	管理者/利用者名
2004年12月21日16時02分43秒	管理者
2004年12月21日15時05分39秒	法人 太郎
2004年12月21日12時08分16秒	法人 太郎

メインメニュー	サブメニュー	参照先 (節番号)
ご契約先認証情報変更	ご契約先暗証番号変更	5.2
	ご契約先確認暗証番号変更	5.2
	ご契約先Eメールアドレス変更	5.2
ご契約先管理情報変更	利用者情報登録/変更 ※マスタデータの一括削除も、このメニューから行います。	5.4, 5.8
	契約口座情報変更	5.3
	ファイル伝送契約情報変更/参照	5.5
	ご契約先限度額変更	5.6
	振込手数料マスタ登録/変更/参照	5.7
ご契約先情報照会	操作履歴照会	5.9
	ご契約先ステータス表示	5.9

(2) 利用者画面のメニュー構成

利用者メニューは2階層になっています。メインメニューを選択すると、選択したメニューのサブメニューが表示されます。



メインメニュー	サブメニュー	参照先 (節番号)
オンライン取引	残高照会	7.2
	入出金明細照会	7.3
	資金移動	7.4
	資金移動予約取消	7.4
	取引履歴照会	7.5
	資金移動先口座情報 (都度指定) 編集	7.6
ファイル伝送	総合振込	8.2
	給与・賞与振込	8.3
	預金口座振替	8.4
	入出金明細	8.5
	外部ファイル送受信	8.6, 8.7
収納サービス	税金・各種料金の払込み	7.7
	収納サービス取引履歴照会	7.7
利用者情報変更	利用者暗証番号変更	10.1
	確認暗証番号変更	10.1
	Eメールアドレス変更	10.1
利用者情報照会	利用者ステータス表示	10.2

(3) ソフトウェアキーボードについて

ソフトウェアキーボードとは、画面上にキーボードを表示してマウスで画面上のキーをクリックすることで、パスワードなどを入力するソフトです。キーボードからの入力情報を盗むキーロガー型のスパイウェアに効果がありますので、ご利用をお勧めします。

なお、キーロガー型以外のスパイウェアやその他の悪意をもったソフトウェアなどもありますので、ソフトウェアキーボードのご利用に加え、セキュリティ・ソフトの導入や、Windows の Update など、十分なセキュリティ対策を実施されることをお勧めします。

補足

- ◆ スパイウェアとは
利用者の知らないうちにパソコンに侵入し、ID やパスワードなどの情報を盗み出すプログラムです。Eメールの添付ファイルを開いたり、無料のソフトウェアのインストールなどにより、スパイウェアがパソコンに侵入することがあります。
スパイウェアの主な機能としては、キーボードから入力を盗み取るキーロガー型のものや、操作画面を画像ファイルとして記録して外部に送信する画面キャプチャー型のものなど、いろいろな型のものがあります。

● ソフトウェアキーボードの使い方

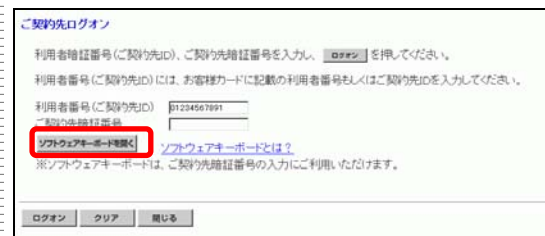
ソフトウェアキーボードは、「ご契約先暗証番号」および「利用者暗証番号」の入力にご利用いただけます。

補足

- ◆ 画面は、「ご契約先暗証番号」の入力例を示しています。

① 「ご契約先ログイン」画面などで、**ソフトウェアキーボードを開く**をクリックします。

⇒ ソフトウェアキーボードが起動します。



② 入力用キーボードで、ご契約先暗証番号または利用者暗証番号をクリックします。

- ※ 入力した最後の1文字を削除する場合は、**1文字クリア**をクリックします。
- ※ 入力したすべての文字を削除する場合は、**すべてクリア**をクリックします。
- ※ 暗証番号の入力を取り止めてソフトウェアキーボードを閉じる場合は、**閉じる**をクリックします。この場合、入力した文字は「ご契約先暗証番号」や「利用者暗証番号」入力欄に反映されません。
- ※ 暗証番号入力時に、「この Web ページがクリップボードへアクセスするのを許可しますか」というメッセージが表示される場合は、「アクセスを許可する」を選択することにより、引き続き入力が可能となります。

③ **OK**をクリックします。

⇒ ソフトウェアキーボードが閉じます。入力した文字がインターネットバンキングの「ご契約先暗証番号」または「利用者暗証番号」入力欄に反映されます。